

コミュニケーション指導実践シート

対象	高等部	教科・領域等	英語／自立活動（表現）
場所	教室	学習形態	集団学習

1 児童生徒の実態

歌やリズム運動といった音楽的な活動に前向きに取り組める生徒が多く、笑顔が見られたり、声を出したり、自分から身体を揺らしたりする様子が見られる。また、視覚障害のある生徒もいるため、声や音、手触りなどで変化をもたせながら支援を行っている。

2 児童生徒の目標

- ・ 教員の問いかけ「How are you?」に対して、表情や身振り、声を出して気持ちを表現する。
- ・ 友達やブロック以外の教員に個々の方法で気持ちを伝える。

3 実践

<指導の手立て>

- ・ 個別に問いかけ、時間をかけて生徒からの表現を引き出せるようにする。
- ・ 表情カードを使用する。
- ・ 1学期は友達どうしの挨拶、2学期はALTや教室を離れてブロック以外の教職員と挨拶をするなど、挨拶する相手を少しずつ幅広くする。

- ① 教員が見本を見せる。
 - ② 個別に挨拶した後、「How are you?」と問いかけ、生徒からの反応を待ち、生徒の反応にあった表情カードを手渡す。
 - ③ 英語の曲が流れている間、教室内を動き回る。
 - ④ 曲が止まった際に、近くの友達とペアになり、互いに挨拶し、カードを使いながら個々の方法で相手に気持ちを伝える。
 - ⑤ 「Good-bye!」と別れの挨拶をする。
- ※③～⑤は、ペアを変えて数回繰り返す。

※2学期は看護師や事務職員、本部の教員などと挨拶し、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする。



②挨拶（表情カード）



④友達との挨拶

4 児童生徒の変容（成果：○、課題：△）

○回数を重ねるにつれ、自分の気持ちを積極的に相手に伝えることができるようになった。
△相手を見ずに一方的な挨拶になってしまうことがあるので、相手を意識するよう声を掛けたり、継続して活動したりするなどの工夫が必要である。